

雲南市立病院
新公立病院改革プラン
評価総括表

令和4年2月

1. 新公立病院改革プラン【果たすべき役割編】

① 令和2年度実績について

評価者	熊倉	山口	永瀬	杉谷	秦	錦織	影山	舟木	矢壁	永井
結果	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する
評価できる点又は評価できない点	<p>【山口委員】 令和2年度は新型コロナウイルスの広がりとその対応により、当初計画の実行は制約されたものの、感染対応を含め住民の健康と命を守る医療提供は適切になされたと評価します。医療人材の確保については計画以上の成果が得られており評価でき、今後指導体制の充実が望まれる。</p>									
	<p>【永瀬委員】 利用者の評判も上々です。</p>									
	<p>【杉谷委員】 コロナ禍の中でも改革プランに基づき病院として果たすべき役割を積極的に果たして頂いている点</p>									
	<p>【秦委員】 新型コロナウイルスの対応について、県内の医療機関の中でいち早くコロナ病床への対応をされ、積極的に受け入れ体制を整えられたこと、大変であったと思いますが、医師をはじめ職員の皆さんが一丸となって取り組みされたこと敬意を表します。</p>									
	<p>【錦織委員】 コロナ禍であり、大変な状況であったと察する。その中で、これほどの目標に対し実績を図られたのは素晴らしいと思う。 社会福祉法人として、地域医療、福祉との連携は確実に深くなっていると感じる。</p>									
	<p>【影山委員】 医師・看護師の確保について積極的に対応がなされ、人材育成に努め健全経営への努力がされている。</p>									
	<p>【矢壁委員】 コロナ禍、積極的な患者受入など医療機関として大きな役割を果たした。そのことが住民の安心感の醸成と病院の存在感にも結び付く結果となった。評価する。</p>									
	<p>【永井委員】 小児・周産期医療の連携を密にした診療体制を整備という点で医師2名体制となり、分娩に対応されている。今まで松江や出雲の個人病院の方が人気があったようですが、、病院がきれいになり近くの公立病院での安心感があると思います。</p>									

1. 新公立病院改革プラン【果たすべき役割編】

②新公立病院改革プランの5年間の最終総括について

評価者	熊倉	山口	永瀬	杉谷	秦	錦織	影山	舟木	矢壁	永井
結果	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する
評価できる点又は評価できない点	<p>【山口委員】 5年間の最大のイベントは病院改築事業であったが、計画どおりに進捗し、質の高い医療を提供できる環境が整備されたことは評価できる。さらに人材確保についても計画以上の大きな進展がみられている。実施計画集計表に関して、地域連携等の部分が新型コロナに影響の記載にとどまっており、5年間の数値実績と総括を記載すべきと考える。</p>									
	<p>【杉谷委員】 圏域の中核病院としてのビジョンをプランの中に明確に位置付け、5年間で着実に実行されている点</p>									
	<p>【秦委員】 どの項目もほぼ達成されており評価できますが、特に医師確保について31名体制が図れていること勢いを感じます。その中で総合診療専門研修には選ばれる病院になっていること評価します。地域医療日本一の足掛かりになること祈念致します。</p>									
	<p>【錦織委員】 地域医療の拠点病院として、十分に役割を果たされている。医師をはじめ医療従事者も確実に増え、計画的な取り組みが功をなしていると感じる。 見える化された”果たすべき役割”はわかりやすく頼もしさを感じた。</p>									
	<p>【影山委員】 一次、二次医療機関との連携が図られ、雲南圏域の中核病院としてリーダーシップを発揮されている。特に地域医療連携推進法人の設立は特筆すべきであります。</p>									
	<p>【矢壁委員】 地域医療人育成センター等の取組みにより医師、看護師の増員が図られたことは評価できる。 認定、特定行為看護師の誕生は収益面もさることながら医療従事者全体のモチベーションにも寄与し、評価できる。 掛合、田井両診療所などの一次医療の積極的な取組みが住民にとって診療の実行と同時に、地域住民が医療の真価を認識でき、評価できる。</p>									
	<p>【永井委員】 全国的に医師不足の中、8名の増員があったことはすばらしいと思います。知り合いの娘さんが研修されましたが、卒業したら是非働きたいと言っておられました。</p>									

2. 新公立病院改革プラン【経営効率化編】

① 令和2年度実績について

評価者	熊倉	山口	永瀬	杉谷	秦	錦織	影山	舟木	矢壁	永井
結果	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する
評価できる点又は評価できない点	<p>【山口委員】 令和2年度は新型コロナの影響により、患者数の減少で入院外来収益が大きく減少し、経営収支比率、医業収支比率ともに低値となっている。一方、コロナ関連補助金約6億円の収入があり、収支全体で2億円の増を計上し、健全経営が維持できている。</p>									
	<p>【永瀬委員】 コロナ禍の中、経営も大変だと思いますが、良く頑張っておられました。</p>									
	<p>【杉谷委員】 病床確保に対する補助金を充当することで、経営の安定化につなげていただいている点</p>									
	<p>【秦委員】 新型コロナウイルス対応に対する苦勞が報われる形で、予想以上の補助金により内部留保資金が単年度で3億5600万円の蓄積が図られ繰越内部留保資金がほぼ19億まで蓄積出来ていること評価できます。</p>									
	<p>【影山委員】 新型コロナの影響が大きい中、各種要因を分析し、入院・外来の患者数確保に努められたい。</p>									
	<p>【矢壁委員】 新型コロナの影響から入院、外来とも減少したが補填されるものもあり、評価できる。 (今後の受診びかえなどの影響に若干の懸念) 新館建設の影響があるものの留保資金が確保できたのは評価できる。 (返済のため、今後の取り崩しが想定される金額も要確保)</p>									
	<p>【永井委員】 新型コロナウイルス感染症の流行のため、入院、外来患者が減少したため収益が減少したのは仕方ないと思います。</p>									

2. 新公立病院改革プラン【経営効率化編】

②新公立病院改革プランの5年間の最終総括について

評価者	熊倉	山口	永瀬	杉谷	秦	錦織	影山	舟木	矢壁	永井
結果	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する	評価する
評価できる点又は評価できない点	<p>【山口委員】 近年は続けて赤字(純損失)を計上しているが、主な要因は新病院建設の減価償却費であり、現金ベースで毎年黒字を計上していることから、全体的に良好な経営状況と考える。</p>									
	<p>【杉谷委員】 診療報酬改定の動きにキャッチアップし、最適な病床数や入院基本料を設定するよう努めていただいている点</p>									
	<p>【秦委員】 個々の目標には至っていないところもありますが、最終的な内部留保資金の蓄積ができています。ただ、心配することとして、企業債残高が新棟建設後も増額していること、内容は分かりませんが設備投資をされている様子と思われます。無駄な投資は無いと思いますが、年間設備投資額についてメリハリをもって対応されること進言致します。</p>									
	<p>【影山委員】 コロナの影響はあると思うが、将来人口が減少していく中で、さらなる経営効率を図るとともに、償還に留意されたい。</p>									
	<p>【矢壁委員】 地域医療人育成センター等の取組みにより医師、看護師の増員が図られたことは評価できる。認定、特定行為看護師の誕生は収益面もさることながら、医療従事者全体のモチベーションにも寄与し、評価できる。 掛合、田井両診療所などの一次医療の積極的な取組みが住民にとって診療の実行と同時に、地域住民が医療の真価を認識でき、評価できる。</p>									
	<p>【永井委員】 後半はコロナの影響により、削減できたものとできないものがありますが、今できる限りの努力をされていると思いますので評価します。</p>									

3. その他 ご意見やご要望など

<p>【杉谷委員】 常に圏域の中核病院としての重要な役割を果たして頂いており、大変感謝しています。</p>
<p>【影山委員】 病院建設の返済計画が示されているが、償還金の原資が確定されていないので不安要因となっている。</p>
<p>【矢壁委員】 常勤医師の配置がない眼科ほかの充実を図られたい。</p>

